

成人式式辞

新年あけましておめでとうございます。そして20歳の成人おめでとう。

本日ここに石井町成人式を挙げるにあたり来賓各位におかれましては、ご多用にもかかわらず多数ご臨席賜り厚くお礼申し上げます。

成人の皆さまは、まず今までたくさんの人々のおかげでこのように立派に成長しました。お礼を言いましょね。まず、最初に皆さまに生を授けてくださったお父さん、お母さん、そして温かく見守ってくださったおじいちゃん、おばあちゃん、ご近所の皆さま、親戚や友人、学校の先生方、多くの皆さまの支えのおかげです。

今日からは、法律的にも重要な国家の一員として貴重な権利と自由を与えられました。選挙権もあります。お酒も飲めます。タバコも吸えます。しかしその自由という権利の裏は、義務がついてまわります。それは、自己責任という大切な義務なのです。お酒の飲み過ぎは体をこわします。少し飲んでも車を運転することはできません。タバコの吸いすぎは、肺ガンの原因にもなります。近年ほとんどの公共施設では禁止されております。

社会には生活していく中で、多数の規則、ルールがあります。その規則は、今まで20歳までの規則に大きく追加されるのです。一部の方は、規則を守れずに飲酒運転で事故を起こして亡くなられたり、暴力をふるい警察に逮捕されたりなどの大きな事件、事故が後をたちません。まだ人生の4分の1です。どうか、人生の道を踏みはずさないようお願いいたします。

皆さまの住む町、そしてふる里石井町は、いま全力で大きな改革に取り組んでおります。テーマは「ロハスの町石井町」です。石井町に住む住民がすべて「健康で快適な生活が持続可能なまちづくり」のことです。少子化と高齢化が進む中で「石井町に住みたいな」「石井町に住んで良かった」という石井町を誇れる町にしたい。どうか皆さまも、このロハスのまちづくりに参加いただき、たくさんの友人をご案内してください。願わくは皆さま方の中から近い将来、石井町いや徳島県、日本、海外で活躍される方が出てくるのを期待しております。そして、いつの時もふる里石井町を忘れないでください。

最後に成人の皆さまには、よくご存じのこの言葉を送ります。

「ボーイズ・ビー・アンビシャス」

この言葉は、130年前アメリカのクラーク博士が、今の北海道大学の第1期生との別れの際に言った言葉です。皆さまにはこれから長い人生が待っています。それは皆さまの生き方によって輝かしくもなり暗くもなります。どうぞ、大きな志を持って夢に向かって歩いてください。

「青年よ大志を抱け」本日はおめでとうございます。

平成20年1月2日 石井町長 河野俊明